

はなみずき



学校だより

鶴岡市立朝陽第四小学校

令和7年11月25日

大成功！スポーツフェスティバル！

11月14日（金）つるしんアリーナ小真木原で、「子どもたちの」「子どもたちによる」「子どもたちのためのスポーツフェスティバル」が行われました。

朝の集合や準備、整列、競技、応援、お昼の過ごし

方等、500人以上いる子どもたちが、6年生を中心に声を掛け合いながら、こんなにもまとまって協力できるものなのかと感心するばかりでした。ただおとなしく行儀がいいだけでなく、競技を楽しみながら元気に運動する姿、みんなでまとまり大きな声を張り上げて応援しあう団結心。本当に素晴らしい子どもたちの姿に校長は、ただただ感心し、感動していました。



6年生は、当日の運営、応援、声かけ等はもちろん、練習段階から下学年の面倒をみながら、温かい関係作りをし、リーダーとして力を発揮してくれました。前向きで、優しく、明るく、しっかりリードしてくれる6年生。その姿をモデルにしながら、下級生たちは学んでいます。「最高学年として全校のことを考えながら下級生をリードし、みんなで一つの目標に向かって協力する」という意識を明確に持って行動し、四小のリーダーとして頼もしく成長してくれました。

5年生も、サブリーダーとして率先して行動し、6年生が競技等で不在の時は「自分たちがこの場のリーダー」という意識をもって頑張ってくれました。

お昼に急遽、4年生から6年生までと一緒に踊った「暁薫らん」は圧巻でした。四小の新しい「団結の象徴の形」を見たように思えました。下の学年の子たちは、きっと自分も踊りたいと憧れを抱いたことでしょう。かっこ良かったです！

1・2・3年生は、上の学年の声かけにしっかり応え、素晴らしい集団行動ができ、競技や応援等では下学年らしいハツラツとした声や動きで会場に笑顔と元気をくれました。移動や待機、お昼の過ごし方も、上級生と一緒に整然と行動することができ、素晴らしい参加態度で、下学年の大きな成長を感じた一日でした。

準備期間から本番まで、みんなで作り上げ、みんなで楽しんだスポーツフェスティバルは「一日だけのイベント」ではなく、子どもたちの成長につながる、これからの学校生活につながる行事です。学校教育目標のテーマである「自立・共生・郷土愛」に、また一歩近づけたと感じる時間でした。

ご来場いただいた保護者の皆様からは、温かい拍手や声掛けをいただき、子どもたちも生き生きと力を発揮することができました。ご理解とご協力、そして沢山の応援ありがとうございました。（文責 校長）

